

1 基本項目	事務事業名	音楽のまちづくり推進事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	芸術文化振興事業、交流館活性化事業					係名	生涯学習・文化係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045
	事業期間	開始年度	平成14年度	終了年度	令和5年度	予算科目	会計	一般会計
	目標名	目標2. 未来につなぐまち					款	教育費
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	社会教育費
	施策名	施策15. 芸術文化・スポーツの振興					目	文化費
	基本事業名	基本事業15ー1. 芸術文化活動の推進				総合計画主な事業	記載あり（評価対象）	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（業務委託）				集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	魚津市を「音楽を愛する街」とするため、「おながく広場@Senzoku魚津」への事業委託により、各種音楽事業を実施し、市民が音楽に気軽に親しめる環境を作り、当市の音楽文化の振興を図る。 また、とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。	
	対象	市民、市内小中学生・保育園児・幼稚園児	
	手段 （活動指標）	「おながく広場@Senzoku魚津」に事業を委託。公的施設での出前コンサート、保育園・幼稚園でのコンサート、小中学生に音楽指導とコンサートを行う。とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。	
	意図 （成果指標）	市民に対し、身近に音楽を親しめる環境を作り出すことで、活気と潤いをもたらす。小中学生に対し、専門家による直接指導により、音楽に対する関心を高めるとともに、演奏技術をアップさせる。	

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 事業数	件	15	25	11	23	209.1%	0
		② 事業支援数	件	2	2	2	2	100.0%	0
	成果	① 音楽事業参加者数	人	1,787	2,211	3,500	2,056	58.7%	0
		②							

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計 (A)	円	2,480,000	2,621,000	4,228,000	4,020,010	53.4%	0
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円	110,000	141,000	210,000	2,010	-98.6%	0
		⑤一般財源	円	2,370,000	2,480,000	4,018,000	4,018,000	62.0%	0
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	2	2	2	0.0%	0
		②年間所要時間	時間	700	300	300	300	0.0%	0
		③人件費（②×@ 3,956 円）(B)	円	2,769,200	1,186,800	1,186,800	1,186,800	0.0%	0
	総	費用 (A+B)	円	5,249,200	3,807,800	5,414,800	5,206,810	36.7%	0

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	○「おながく広場@Senzoku魚津」へ事業委託し、各種音楽事業を実施した。 市民のためのクラシック講座「0歳からの音楽会」を6/4、9/23の2回、「ヒューマンビートボックスーちroriコンサート」を3/17に開催した。 市民のための出前コンサート及び音楽普及事業として、学びの森ミュージックフェスタ（4/23、10/1）や清掃ボランティア（7/30）への奏者派遣、楽器体験ワークショップ（6/49、/23）や音楽療法リトミック（7/9、8/6、9/23、11/26）を開催した。 小中学生のための音楽推進事業として、中学校合唱祭の事前指導、本番審査及び演奏、小学校卒業式に向けた歌唱指導を行った。 洗足学園100周年記念事業と連携し、特別事業「水めぐるまちふるさと魚津」として、市内各地を撮影した映像作品を制作。映像に合わせた即興演奏による公演（10/13、10/14）を開催した。	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
					② 目的の妥当性	1 妥当である
					③ 対象の妥当性	1 妥当である
	有 効 性	B	B	事業の統合まではいかないが進め方に改善が必要	① 目標達成度	3 低い・未実施
					② 類似事業の有無	2 検討の余地あり
					③ 上位施策への貢献度	1 高い
	効 率 性	B	B	根本的変更でなく進め方の改善が必要	① コスト効率	2 普通
					② 実施主体の適正化	2 改善の余地あり
					③ 負担割合の適正化	1 適正である
1 次評価	結果 （課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	不要	
	今後の方針	現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 ○統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	保育園、幼稚園から小学生に向けて、本格的な音楽に親しむ機会を作ること、情操教育にも効果が上がってきている。R6年度から、音楽関連事業の類似事業である「学びの森音楽祭」と統合し、現在の事業の枠組みを維持しながら、より効果的な取組となるよう努める。	2 次評価	

1 基本項目	事務事業名	新川文化ホール事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	新川文化ホール事業					係名	生涯学習・文化係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045
	事業期間	開始年度	平成6年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	目標名	目標2. 未来につなぐまち					款	教育費
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	社会教育費
	施策名	施策15. 芸術文化・スポーツの振興					目	新川文化ホール費
	基本事業名	基本事業15－1. 芸術文化活動の推進				総合計画主な事業	記載あり（評価対象）	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（指定管理者制度）				集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	・（公財）富山県文化振興財団を指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。また、多彩な事業の実施を促し鑑賞と参加の機会を広く市民に提供する。 ・新川文化ホールにおいて、児童・生徒に優れた音楽、本物の舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、芸術文化により親しみと関心を深めてもらう。						
	対象	市民、各種団体等、市内中学2年生、市内小学5・6年生						
	手段（活動指標）	・（公財）富山県文化振興財団を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設維持管理や利用料金徴収業務のほか、多彩な自主企画事業や魅力ある市民文化祭・市美術展を実施する。 ・中学生舞台芸術鑑賞会（中学2年生対象）、小学生舞台芸術鑑賞会（小学5・6年生対象）を実施する。						
	意図（成果指標）	・施設利用者（市民・文化団体・アーティスト等）が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。施設を利用することにより文化活動が充実する。文化の情報と交流の場を市民に提供し、市民文化の創造及び振興を図る。 ・芸術文化に対する興味が高まる。豊かな心や感性・創造性が育まれる。						

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 利用件数	件	1,922	2,649	3,000	2,791	93.0%	3,000
		② 利用料金	円	14,212,988	17,547,925	17,000,000	15,809,473	93.0%	16,000,000
	成果	① 企画事業の延べ入場者（参加者）数	人	14,257	23,859	24,000	20,931	87.2%	24,000
		②							

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費内訳	事業費合計（A）	円	76,323,830	80,432,802	102,105,000	99,649,778	23.9%	115,832,800
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円			19,800,000	19,800,000		
		④その他（使用料、雑入等）	円	175,048	190,000	220,000	293,723	54.6%	220,800
		⑤一般財源	円	76,148,782	80,242,802	82,085,000	79,556,055	-0.9%	115,612,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	2
		②年間所要時間	時間	840	540	840	540	0.0%	540
		③人件費（②×@ 3,956 円）（B）	円	3,323,040	2,136,240	3,323,040	2,136,240	0.0%	2,136,240
	総費用（A+B）		円	79,646,870	82,569,042	105,428,040	101,786,018	23.3%	117,969,040

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等								
	○基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。 ○魚津市民文化祭（10月21日、22日）、第63回魚津市美術展（11月3日～11月8日）を開催した。 ○小中学生舞台芸術鑑賞会 R5：中学生は谷桃子バレエ団、小学生は劇団四季を鑑賞した。								

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
					② 目的の妥当性	1 妥当である
					③ 対象の妥当性	1 妥当である
	有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価点への影響低い	① 目標達成度	2 目標どおり
					② 類似事業の有無	1 なし
					③ 上位施策への貢献度	1 高い
	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2 普通
					② 実施主体の適正化	1 適正である
					③ 負担割合の適正化	1 適正である
	結果（課長総括）	A	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	不要	
	1次評価	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	市民が多様な芸術文化に触れるとともに、地域の文化資質の向上に貢献する施設となるよう指定管理者と連携しながら事業を進めていく。また、施設の老朽化に伴い、大規模なものを含む修繕が増えており、指定管理者と協議しながら、計画的に修繕を進めていく必要がある。	2次評価	

1 基本項目	事務事業名	芸術文化振興事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	芸術文化振興事業				係名	生涯学習・文化係
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	会計	一般会計
	目標名	目標2. 未来につなぐまち			予算科目	款	教育費
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項	社会教育費
	施策名	施策15. 芸術文化・スポーツの振興				目	文化費
	基本事業名	基本事業15－1. 芸術文化活動の推進			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）	
	根拠法令				総合戦略との関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	・市民に優れた音楽・舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、文化芸術の裾野の拡大と振興を図る。文化団体の育成を図る。					
	対象	①市民、②市内文化団体（文化協会、市美協）、③市内小中学生・保育園児・幼稚園児					
	手段（活動指標）	・国県等の補助事業を利用した公演を開催する。芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援する。文化事業の後援・共催、文化芸術団体との連絡調整を行う。 ・「おんがく広場のSenzoku魚津」に事業を委託。公的施設での出前コンサート、保育園・幼稚園でのコンサート、小中学生に音楽指導とコンサートを行う。とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。					
	意図（成果指標）	①市民の芸術文化に対する関心が高まる。身近に音楽を親しめる環境を作り出すことで、活気と潤いをもたらす。自らの芸術活動の活性化が図られる。②会員の資質及び活動への参加意欲の向上。					

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 国県等の補助事業開催数	件	2	1	1	1	100.0%	2
		② 中学校文化連盟事業	件	11	11	13	12	92.3%	13
	成果	① 市民文化祭への参加人数	人	3,413	3,696	3,700	2,984	80.6%	3,700
		② 市美展出品数（一般、招待）	点	190	177	190	160	84.2%	180

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費内訳	事業費合計（A）	円	1,312,900	1,746,594	1,297,000	1,285,690	-26.4%	17,384,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円	113,594	111,194	97,000	98,191	-11.7%	3,741,000
		⑤一般財源	円	1,199,306	1,635,400	1,200,000	1,187,499	-27.4%	13,643,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	2	2	2	0.0%	2
		②年間所要時間	時間	1,160	560	560	560	0.0%	560
		③人件費（②×@ 3,956 円）（B）	円	4,588,960	2,215,360	2,215,360	2,215,360	0.0%	2,215,360
	総 費 用（A＋B）		円	5,901,860	3,961,954	3,512,360	3,501,050	-11.6%	19,599,360

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等					
	○国県等の補助事業を利用した公演（文化芸術による子供の育成事業等）を開催した。また、国県等の補助事業について、学校、新川文化ホール、公民館等に照会し要望があれば申請を行った。 ○芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援した。 ○大平山濤作品「山の鼓動」の修繕を行った。 ○文化事業の後援・共催の承認手続きを行った。					

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である
					② 目的の妥当性	1	妥当である
					③ 対象の妥当性	1	妥当である
	有 効 性	A	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	① 目標達成度	2	目標どおり
					② 類似事業の有無	1	なし
					③ 上位施策への貢献度	2	普通
	効 率 性	B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2	普通
					② 実施主体の適正化	1	適正である
					③ 負担割合の適正化	1	適正である
	結果（課長総括）	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	不要		
	1次評価	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	幅広い市民が芸術文化に触れられる機会を拡大しながら、市内の芸術文化の振興に取り組む必要がある。	2次評価		

1 基本項目	事務事業名				スポーツ選手等強化育成事業	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課			
	予算事業名				スポーツ選手等強化育成事業		係名	スポーツ係			
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-1046			
	事業期間				開始年度	不明	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				款	教育費			
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項	保健体育費			
		施策名	施策15. 芸術文化・スポーツの振興				目	保健体育総務費			
		基本事業名	基本事業15－2. スポーツ活動の推進				総合計画主な事業	記載あり（評価対象）			
	根拠法令								総合戦略との関連	関連なし	
アウトソーシング導入状況				アウトソーシング導入済（業務委託）				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	競技スポーツ選手のレベルの向上を図るための取り組みを行う。 ①全国大会等へ出場した選手及び監督への奨励金の支給、②桑山賞の授与、③ジュニア選手（スポ少）の強化育成、指導者講習の補助の実施、④強豪選手・チームの招へいによるスポーツ教室の開催支援						
	対象	全国大会等へ出場した選手及び監督、スポ少等、競技スポーツ選手及び指導者						
	手段（活動指標）	・スポーツ指導者育成研修会の開催数						
	意図（成果指標）	・奨励金申請件数 ・全国大会（国民体育大会・全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会）出場者数						

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動成果	① スポーツ指導者育成研修会の開催数	回	1	1	1	1	100.0%	1
		②							
		① 奨励金申請件数	件	111	200	200	215	107.5%	200
		② 全国大会出場者数	人	61	146	100	142	142.0%	100

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計（A）	円	2,428,985	3,690,376	4,274,000	4,075,202	10.4%	4,054,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円	1,581	1,581	201,000	1,758	11.2%	201,000
		⑤一般財源	円	2,427,404	3,688,795	4,073,000	4,073,444	10.4%	3,853,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	4	4	4	0.0%	4
		②年間所要時間	時間	700	1,100	1,100	1,100	0.0%	1,100
		③人件費（②×@ 3,956 円）（B）	円	2,769,200	4,351,600	4,351,600	4,351,600	0.0%	4,351,600
	総 費 用（A＋B）		円	5,198,185	8,041,976	8,625,600	8,426,802	4.8%	8,405,600

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等							
	・スポーツ競技大会出場奨励金（全国大会等へ出場した選手や監督に対する奨励金の支給） ・桑山スポーツ賞の授与（該当なし） ・選手強化育成事業（ジュニア選手強化育成、スポーツ指導者育成研修会の開催支援） ・選手派遣補助事業（県大、北信越大会、全国大会出場へ出場した中学生に対する交通費等の補助）							

評価の視点		R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
6 評 価	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である	
					② 目的の妥当性	1	妥当である	
					③ 対象の妥当性	1	妥当である	
	有 効 性	A	A	特に問題なし	① 目標達成度	1	高い	
					② 類似事業の有無	1	なし	
					③ 上位施策への貢献度	1	高い	
	効 率 性	A	A	特に問題なし	① コスト効率	1	高い	
					② 実施主体の適正化	1	適正である	
					③ 負担割合の適正化	1	適正である	
	1 次 評 価	結果 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当		不要	
今 後 の 方 針		○ 現状を維持	方 針 の 説 明 等	スポーツ振興及び競技力向上を図るとともに、全国大会等へ出場する選手の負担軽減を図るため、奨励金の支給制度は必要と考える。ジュニア育成に関しては、今後もスポーツ協会と連携し、効果的な取組とする必要がある。	2 次 評 価			
		事業の拡充						
		事業の縮小						
	統合等の検討							
	終了又は廃止・休止							

1 基本項目	事務事業名	スポーツコミッション事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	市民体育大会等開催支援事業				係名	スポーツ係
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1046
	事業期間	開始年度	令和3年度	終了年度	当面継続	会計	一般会計
	総目標名	目標2. 未来につなぐまち			予算科目	款	教育費
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項	保健体育費
	施策名	施策15. 芸術文化・スポーツの振興				目	保健体育総務費
	基本事業名	基本事業15-2. スポーツ活動の推進			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）	
	根拠法令				総合戦略との関連	関連あり（評価対象）	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（業務委託）			集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	市、スポーツ団体、民間企業等が一体となってコミッションを設立し、スポーツによるまちづくり、地域活性化を推進するもの。 ①市民体育大会夏季・冬季運営の委託、②各種大会の支援（しんきろうマラソン大会、全日本大学女子野球大会、北陸実業団陸上選手権大会、富山県青少年相撲選手権大会、TJAR（トランスジャパンアルプスレース））、③「U0!SP0!」開催、④スポーツクリニック開催					
	対象	市民、スポーツ団体、企業、大会等参加者、関係者					
	手段（活動指標）	・市民体育大会夏季・冬季運営委託料 ・スポーツクリニックの開催数					
	意図（成果指標）	・しんきろうマラソン参加者数 ・全日本大学女子野球大会チーム数					

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 市民体育大会夏季・冬季運営委託料	円	1,385,095	1,950,000	1,950,000	1,950,000	100.0%	1,750,000
		② スポーツクリニック開催数	回	2	3	2	3	150.0%	3
	成果	① しんきろうマラソン参加者数	人	0	2,671	5,000	3,553	71.1%	5,000
		② 全日本大学女子野球大会チーム数	チーム	0	14	15	13	86.7%	15

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費内訳	事業費合計 (A)	円	3,544,095	15,035,997	12,825,000	10,778,919	-28.3%	11,890,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円		3,200,000		10,700,000	234.4%	3,500,000
		⑤一般財源	円	3,544,095	11,835,997	12,825,000	78,919	-99.3%	8,390,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
		②年間所要時間	時間	600	600	600	600	0.0%	600
		③人件費（②×@ 3,956 円）(B)	円	2,373,600	2,373,600	2,373,600	2,373,600	0.0%	2,373,600
	総費用 (A+B)		円	5,917,695	17,409,597	15,198,600	13,152,519	-24.5%	14,263,600

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等					
	・市民スポーツ大会事業補助 ・市民体育大会運営及び県民体育大会選手派遣業務 ・しんきろうマラソン補助 ・全日本大学女子野球選手権大会補助 ・パナソニックスポーツクリニック（ラグビー、バレーボール、野球） ・トランスジャパンアルプスレース事業					

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である
					② 目的の妥当性	1	妥当である
					③ 対象の妥当性	1	妥当である
	有 効 性	A	A	特に問題なし	① 目標達成度	1	高い
					② 類似事業の有無	1	なし
					③ 上位施策への貢献度	1	高い
	効 率 性	A	A	特に問題なし	① コスト効率	1	高い
					② 実施主体の適正化	1	適正である
					③ 負担割合の適正化	1	適正である
	結果（課長総括）	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要		
1 次評価	今後の方針	○現状を維持	方針	市体育大会やマラソン、女子野球等、市全体の大きな大会には運営補助を行うことは適当である。しんきろうマラソンはtoto補助金の活用により単費を補う見込みができた。女子野球の単費を補う財源の確保が課題。また、クリニックでのトップレベルの選手による指導は、レベル向上に非常に効果が高く、今後も充実に努めたい。	2 次評価		
		事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	針の説明等				

1 基本項目	事務事業名				体育施設管理事務	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課				
	予算事業名				体育施設管理費		係名	スポーツ係				
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-1046				
	事業期間				開始年度	昭和32年	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名				目標2. 未来につなぐまち				款	教育費	
		政策名				政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項	保健体育費	
		施策名				施策15. 芸術文化・スポーツの振興				目	体育施設費	
		基本事業名				基本事業15－2. スポーツ活動の推進				総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
	根拠法令								総合戦略との関連		関連なし	
	アウトソーシング導入状況				アウトソーシング導入済（指定管理者制度）				集中プランとの関連		関連あり（評価対象）	

2 事業概要	事業概要	スポーツ施設の適正な維持管理、利用者サービスに努め、有効的な利用促進を図り、市民の健康増進及び誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整える。 1. 対象施設：天神山野球場、吉田グラウンド、室内温水プール、弓道場、桃山運動公園 2. 指定管理者制度による維持管理、運営 H18.4.1から（公財）魚津市スポーツ協会	
	対象	市民、管理施設（ありそ、天神山野球場、吉田グラウンド、室内温水プール、弓道場、桃山運動公園）	
	手段（活動指標）	（公財）魚津市スポーツ協会を指定管理者とし指定管理料を支払い、管理運営を委託した。また、施設の修繕（規模が大きく金額で300千円以上）等を行った。	
	意図（成果指標）	事業の対象となる施設の利用者数及び定期的にスポーツを行う市民の増加	

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 施設修繕（300千円以上）	件	11	2	2	2	100.0%	2
		② 指定管理委託料	円	185,710,991	182,698,000	194,072,000	186,485,031	96.1%	169,613,000
	成果	① 週1回以上スポーツをする市民の割合	%	48.1	調査未実施	50.0	調査未実施		50.0
		② 対象スポーツ施設の利用者数	人	189,925	297,840	400,000	301,559	75.4%	400,000

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費内訳	事業費合計（A）	円	378,384,802	216,026,603	224,260,200	216,397,342	0.2%	253,434,000
		①国庫支出金	円	5,940,000					
		②県支出金	円						
		③地方債	円	51,700,000		1,400,000	4,600,000		59,400,000
		④その他（使用料、雑入等）	円	100,894,000	6,677,735	13,689,000	6,789,667	1.7%	7,413,000
		⑤一般財源	円	219,850,802	209,348,868	209,171,200	205,007,675	-2.1%	186,621,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	3	3	3	0.0%	3
		②年間所要時間	時間	800	1,400	1,400	1,400	0.0%	1,400
		③人件費（②×④ 3,956 円）（B）	円	3,164,800	5,538,400	5,538,400	5,538,400	0.0%	5,538,400
	総 費 用（A＋B）		円	381,549,602	221,565,003	229,798,600	221,935,742	0.2%	258,972,400

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	・ 学校体育施設の夜間開放利用実績（計2,721回、延べ34,704人） ・ 旧小学校体育施設の日中開放等利用実績（計1,053回、延べ24,989人） ・ 体育施設の指定管理（総合体育館、天神山野球場、魚津テクノスポーツドーム） ・ 指定管理施設の30万円以上修繕等（桃山運動公園運動広場イノシシ侵入防止柵設置工事、魚津桃山運動公園陸上競技場スタンド及び野球場スコアボード防水工事） ・ 桃山野球場ラバーフェンス広告料収入 ・ スポーツ施設長寿命化計画策定に基づく修繕 ・ 学校開放施設の運営・管理、使用料徴収、環境改善（ウレタン塗装工事）	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である
					② 目的の妥当性	1	妥当である
					③ 対象の妥当性	1	妥当である
	有 効 性	A	A	特に問題なし	① 目標達成度	1	高い
					② 類似事業の有無	1	なし
					③ 上位施策への貢献度	1	高い
	効 率 性	A	A	特に問題なし	① コスト効率	1	高い
					② 実施主体の適正化	1	適正である
					③ 負担割合の適正化	1	適正である
	結果（課長総括）	A	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	不要		
	1次評価	○ 現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	スポーツ施設長寿命化計画に基づき、施設管理者と情報交換しながら、計画的・効果的な維持管理を実施するよう務めている。また、toto助成（スポーツ振興くじ助成）のメニューを確認の上、可能な範囲で活用することとしている。旧小学校体育施設は、コミセン建替に伴い、将来的に地区管理への移行を見込んでいる。	2次評価		